

SAIDAIJI JC REPORT

VOL.4

Approach of Dream~

~夢にむかって~

一年を振り返って

理事長 岡田 康志



2007年度スローガン「Approach of Dream~夢にむかって」のもと、一年間精一杯の運動に邁進させていただきました。閉鎖的と言われていた西大寺JCですが、この一年は多くのブロック事業に大勢で参加することが出来たことをメンバーの皆様にご感謝申し上げます。

また、LOMにとって久しぶりの海外姉妹JC訪問、卒業生全員参加の全国大会と思えば深い一年であったことは、言つまでもありません。事業では少年はだか祭りが、新しい試み・テレビのロケ等予測の

困難な事情が多々あったにも関わらず、すばらしい争奪戦が繰り広げられ、少子化が叫ばれている中、ついに五百名を上回る登録と日本一の少年はだか祭りに成長したことは間違いないと思っております。

もう一つのメイン事業「吉井川フェスタ」では、数年来の夢であった「河口の碑」が建立され、また前夜祭として西大寺の地で流域交流会が行われ、多数の流域関係者のご出席を頂くことが出来ました。

本年、全ての事業において青年らしく失敗を恐れないアグレッシブな「攻め」の姿勢で望めたように思います。少ないメンバーではありますが、団結力は岡山プロジェクト内どのLOMにも負けな

いと自負しております。最後に、この一年間理事長として精一杯努めさせていただいたつもりではありますが、メンバーの皆様にはご負担をお掛けした事も多々あったと自覚しており

ます。何も言わずに付いて来てくださったメンバー全員に心より感謝しております。ありがとうございました。

一年を振り返って

直前理事長 中村 千晃



今年一年間、岡田理事長のもと事業を展開してきましたが理事長のサポートができたか分かりません。すいません。

今年で、卒業となりメンバーには、私が先輩達に教わったことを少しでも教えておきたいという思いが強くなり皆さんには、いろ

いろと言ったことだと思っています。JICも時代の流れで進化していきますが継承、伝統を忘れず守っていただきたいと思います。そして、最後の年に岡山ブロック協議会に監事として出向させていただきありがとうございます。LOMだけでなく外にでて、多くの素晴らしい仲間を知り、多くのことを学びました。皆様も機会があればぜひ出向してみてください。十六年間、充実したJIC生活でした、多くのOB、メンバーと知り合えたことに感謝し、家族の支えに感謝します。今後、皆様のご活躍とますますの発展を心からお祈り申し上げます。

一年を振り返って

専務理事 松本 和生

今年度、専務理事という役職い

ただいたときから、どういうことしていくのか模索する状態でした。なかなか専務理事の役職をこなしていくことができず、理事長をはじめ、LOMのメンバーに迷惑をかけることが多くあったと思います。特に、担当である片岡総務委員長には、総務の仕事をおまり理解していない専務理事で苦勞をかけたと思います。しかし、LOMの事が一番よくわかるようになるポジションということ、やりがいもあり、1年間頑張れたと思います。さらに、会員会議所に出席することで、新たに県内のメンバーと知り合う機会も多く、特に他LOMの専務理事と話をすることが多いのですが、県内の各LOMが行っている事業



について勉強になり、楽しみも多い役職だと感じました。なかなか、時間をとる事が大変ですが、ぜひとも、多くのメンバーに経験していただきたいと思います。

1年間、ありがとうございます。

一年を振り返って

副理事長 岡本 光生



本年度、地球ふるさと委員会の担当副理事長を務めさせて頂きました岡本光生です。

地球ふるさと委員会といえば

少年はだか祭りです。先輩方からこの事業を引き継いでいただき、今年で三十六回を開催することができました。毎年、参加児童数が更新している中、今年は三百六十名の参加で無事終える事ができました。皆さんもご承知のとおり、少年はだか祭りは色んな団体に協力していただいております。今回は会陽奉納会さんにアドバイスをいただき、新しい争奪を行いました。参加児童数も増え、なにより安全性を考えたら新しい取り組みを行うのは、とても勇気がいりました。でも、会陽奉納会さんが、これだけ児童数が増えれば今までのやり方では逆に危険ですと言われ思い切って実施しました。まだまだ改良点もあります。反省会を積み重ね、先輩方から引き継いだ少年はだか祭りをみんなで盛り上げていきたいと思っております。

そして、塩崎委員長はじめ三枝副委員長、小川委員、中山委員、

赤木委員には一年間本当に助けてもらってありがとうございました。

一年を振り返って

副理事長 花島 功一



昨年は、地球市民委員長として一年間活動をして参りましたが、ただ一点残念なことがありました。それは毎年七月に開催される吉井川フェスタです。前々日の大雨により砂浜がヘドロに覆われやむなく中止とゆう結果となり大変くやしい想いがありました。ですが、今年度岡田理事長のありがたい計らいによりもう一度違

一年を振り返って

副理事長 麻岡 正義



う角度からですが、リベンジできるポスト、地球市民担当副理事長をさせていただくこととなりました。吉井川フェスタ当日は、体がとろけてしまいそうなくらいの猛暑でしたがメンバー一丸となり大盛況に終わることができたと思います。また、河口の碑も立派なものができ流域の方々も喜んでくださいました。ようやく一年前に歯につまったものがとれ晴れやかな気持ちになることができました。これも一重に地球市民委員会メンバーをはじめとする現役メンバー、特別会員の先輩方、実行委員会のメンバーの皆様のおかげだと思います。ありがとうございました。

最後に二〇〇八年度 四十八代理事長として、メンバーの先頭にたち風当たりの一番強い位置にてがんばる所存ですので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

本年度副理事長として親睦研修委員会と広報渉外委員会を担当させていただきました。親睦研修委員会では、新年祝賀会、OB懇親会と日ごろ当LOMがお世話になつていらっしゃる皆様との懇親会を企画させていただきました。LOMの人数が少なくなる中、日ごろお世話になつていらっしゃる皆様との交流は意義深いものでした。広報渉外委員会では、他のLOMとの交流を深める事業への参加協力が中心でした。本年度はブロック内の他のLOMの周年祝

賀会には大勢のメンバーの皆さんに参加していただき、西大寺の存在感を十分に示せたと思います。また、メンバーと他LOMのメンバーとの懇親を深めるきっかけとなりました。さらに本年度は、台湾でのアスパック、帯広での全国大会にもメンバーを送り込むことができました。私自身初めての海外での大会、初めての北海道での大会に参加でき、よい思い出となりました。皆様、お世話になりました。

一年を振り返って

総務委員長 片岡 直孝

本年度、総務委員長を務めさせていただきまして、私自身初めて年間を通して執行部会議から役員会という流れですべての事業を計画の段階から見ることがで



一年を振り返って

き、とても勉強になった。一年間で
した。パソコンの使い方もあまり
詳しくなく、資料作成や案内等な
にかとメンバーの皆様方に助け
て頂きながら何とか一年間やつ
てこられたかなと思っております。

このような機会をつくって
いただいた岡田理事長と西大寺
Jのメンバーの皆様にご心より感
謝申し上げます。

私自身のJcでの活動もあと
一年となりました。次年度も精一
杯活動していきたいと思ってお
ります。一年間本当にありがとう
ございました。



地球ふるさと委員長
塩崎 鉄司

今年度、地球ふるさと委員長を
務めさせて頂きました。一年間を
振り返りますと、まずは入会二年
で委員長として、二月には第三十
六回少年はだかまつりの担当と
いうことで訳も分からず、慌しく
この一年がスタートしたなとい
う事を今でも鮮明に覚えていま
す。

そんな中でも委員会メンバー
は丸となって頼りない委員長を
支えていただき、少年はだか祭り
や卒業式等、各事業を無事に終え
ることが出来ましたこと大変感

謝しております。私自身はコミュ
ニケーション不足や組織への理
解不足もあり皆様にはご迷惑を
おかけしましたが委員長を経験
したことで自身が苦手としてき
たことが少しは克服できたよう
な気がします。

最後にこのような大役を私に
年間、任せていただいたJcメン
バーの皆様にご感謝申し上げます。
ありがとうございました。

一年を振り返って

地球市民委員長
坪井 陵広

私が入会させて頂いて四年目
で委員長という重役を仰せ付か
った事を有難く感謝している反
面、不安の毎日でした。当青年会
議所の二大事業でもある「吉井川
フェスタ」を担当させて頂きまし



たが、三月、八月迄気を抜く事が
出来ず、今までの人生で一番の忙
しさを感じさせられました。多く
の方々の温かいご協力によって完
成された「吉井川フェスタ200
7」は、反省点はあったものの、
来場者の皆様からは笑顔を見
る事が出来、ほっと肩の力が抜
けました。

来場者の方々に「ふれ 知り
まもる」、このテーマが少しでも
伝える事が出来たのなら私の本
望であり、何よりも、吉井川に河
口のシンボルとして、「河口の碑」
を建立させて頂いた事が本当に
光栄です。

本年一番勉強をさせて頂いた
事として、人に動いて頂くと言っ
事です。自分だけで仕事をする事

がどれだけ簡単で、人に理解をして頂き、アイデアを出してもらい、進んで仕事をしてもらったことがどれだけ難しいかを知りました。近年は青年会議所の会員減少に伴い、組織力と言つものが薄れつつあります。委員会も三人〜四人の中で、その委員会の力をいかに発揮させられるか、私の今後の重大課題です。

本当に青年会議所と云つところは勉強になります。今後自分力を高める為努力していきたいと思います。

一年を振り返って

親睦研修委員長 石井 亮

本年度、親睦研修委員会委員長を務めさせていただきました。親睦研修委員会は一年を通して新



年祝賀会、会陽懇親会、OB懇親会などの設営を中心に活動いたしました。この一年間委員長をさせていただいて、一番感じたことは、人をもてなすことの難しさです。青年会議所に入会して五年間、これまでではもてなされる事が中心で運動してきた私が本年度、反対の立場であるもてなす側の責任者として場所探しに始まり、段取り、打ち合わせ、設営側の苦労を知ることが出来ました。この貴重な経験を来年度以降のJC運動に生かしていきたいと思えます。

一年を振り返って

広報渉外委員長 片岡 剛



一年間に亘り広報渉外活動を行ってきました。主な事業は当青年会議所運動をカメラにて記録撮影を行うことでした。

各地青年会議所で行われた各周年式典においても、多くのメンバーに参加してもらい、岡山プロックに対して西大寺ここに在りとアピールすることが出来ました。

入会した当時は疑問ばかり持っていました。が、ファイナダー越しに観てきた青年会議所に何時しか愛情のよくなものを感じるようになってきました。尚、一年間ご拝読していただき、ありがとうございます。

行事予定

1月 9日 1月例会
1月 11日 新年祝賀会

発行日：平成19年12月28日

発行責任者：岡田 康志

編集責任者：片岡 剛

発行所：社団法人

西大寺青年会議所